

(1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

私は、「食」関係の学部を目指したため、多くの大学を調べました。中でも、この同志社女子大学は、カリキュラムが充実していて、調理、食品、栄養の方向から学べるので、そこに魅力を感じました。どうしてもこの学校に行きたいと、次第に思いやうになり、第一志望校にしました。

(2) 推薦入試対策としての受験勉強の進め方について。

[1学期]

この頃、私はまだ第一志望校を決めることができていませんでした。そのため、どの教科もまんべんなく苦手をこらえるよう勉強していました。でも、英語はどの大学に行っても必要不可欠なので、単語や文法など、基礎固めを中ばいしました。この1学期という、みんなのスイッチが入りかけている時期に、とれだけ差をつけられるのが大切だと思いました。

[夏休み]

私は運動会で、リーダーを務めました。夏は、そのリーダーの仕事に追われていて、正直勉強はほとんどできていませんでした。でも、焦りは常に感じていたのでも、学校の課外や授業は、しっかりノートをとって、わかる部分とわからないところができやすいように、周りの友達に質問していました。あとは「まとめ」などをきちんとやることで、後でよく確認できるように、バリエーションをつけました。

[2学期～入試直前]

9月上旬頃に推薦を受けることを決断しました。ほかには決めかねず、スタートが遅れてしまいました。その分、この2か月は相当集中して勉強していたと思います。化学は、まずはじめに教科書を読み直しました。知識がある程度入ったと思うと、ひたすらセンターの大問別演習を解き続けました。問題をこらえることで自分の苦手を知らることができると思っています。あとは、過去問を6年分解いて、分野ごとに分けてアクリルでしました。これをやることで、過去問の傾向を見抜くことができました。入試直前はひたすらこのノートを見ていました。自分だけのノートと1冊作ることも大切だと思いました。

(3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

夏から1番両立が大変でした。しかし、高校の行事を全力でできるのもその時だけだと思いました。だから私は悔いを残さぬためにも両立という道を選びました。その分、スマホの時間を有効に使ったり、スマホを使わずに済むようにセーブしたりできることには感謝しています。特に体調管理は何よりも大切だと思います。どんな時でも、睡眠時間だけは減らさないといいと思います。寝ることで、朝型にもなれ、勉強のペースも良くなりました。だから、必ず勉強したい時こそ、無理をせず寝るべきだと思います。

(4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

受験をしている今はまだわからないけど、1分でも1秒でも早く合格通知が欲しいと思います。それから、毎日、努力を惜しまずがんばり続けられる人には、しっかりと結果はついてきます。あと少し、ここで頑張れ!! と言えたらいいかなって下で、応援しています!!